※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　教志コース

教科	教志	科目	教志実践	単位数	1 or2 単位	年次	2or3 年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自ら率先して実習・体験することによってのみ、成立する授業です。本校以外の場所（保育所、幼稚園、小学校、中学校、地域のクラブ、ボランティア活動など）でも、自分から積極的に働きかけ、実習先を決めて申し込み、定められた期間、最後まで活動できる人は選択してください。（この科目は必修ではありません）

2　学習の到達目標

教員に必要な資質「自主性と計画性」を培い、実習・体験から教員の仕事の一側面を知る。
教員を志望する意欲を高め、教員になるために大学へ進学するという明確な目標を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実習先の設定や申し込みができ、円滑に進めていくことができる	実習先での参加態度や実習記録を通して、自らの意見や考えを述べることができる。 また、実習後は発表や報告会を通して、自分の気づきを述べることができる	実習先や内容等を自らすすんで積極的に考え、取り組むことができる。 また、グループで行う場合は仲間との協調性を身につけることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
適宜		・オリエンテーション ・実習は全て授業時間外に設定します。 ・実習先、実習時期、期間などは自分で設定し、授業担当者と打ち合わせをし、外部の場合は申し込みをします。 ・適宜実習を行い、実習先の担当者にレポート等をチェックしてもらいます。 ・最終的にレポート等は全て授業担当者へ提出します。 ・実習後は発表や報告を行います。	a:実習先の設定や申し込みができ、円滑に進めていくことができる b:実習先での参加態度や実習記録を通して、自らの意見や考えを述べることができる。 c:自らすすんで積極的に取り組むことができる。	実習の記録	実習の記録	出席状況 参加態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度